

芝山と大和川の蛇行に関する研究

1. はじめに

奈良県から流れてきた大和川は、芝山のところで急に向きを変え、芝山を取り囲むように流れる（図1）。なぜ、芝山のところで大和川が大きく蛇行しているのか、文献・地形・地質から調査をおこなった。



図1 国土地理院撮影の空中写真（1999年撮影）

2. 文献について

島山を い行き廻る 川沿ひの 岡辺の道よ一万葉集—
奈良時代、芝山は「島山」と呼ばれ、山の周囲を川が取り囲み、島のように見えていたと推定されている。「島山」の南東には国分寺・国分尼寺、東の対岸には竹原井（たけはらい）頓宮（離宮）があり、交通の要所となっていた。

江戸時代の絵図には芝山の南に大きな沼沢が描かれ、大和川の氾濫水と周辺の山から流れ込んだ雨水が溜まっていた（図1の平坦地に該当）。1648年に田輪樋（たのわひ）という排水用トンネルを芝山の西に掘ったことで沼沢地に溜まった水を大和川に排水し、沼沢地は開拓された。

3. 地形について

芝山の南西、芝山と近鉄国分駅の間に海拔30～50mの丘陵がある（図1の丘陵）。この丘陵は約200万年前の大阪層群と呼ばれる地層からなり、この丘陵形成後、大和川がこの丘陵を削ったことがないことがわかる。

芝山の南、丘陵の東に見られる平坦な地形（図1の平坦地）は、江戸時代の沼沢地に相当する。

4. 地質について

芝山にゲンブ岩が分布することが古代から広く知られ（図2）、箸墓（はしはか）古墳（奈良県桜井）など多くの

古墳から芝山のゲンブ岩が報告されている。芝山北麓にはカコウセンリョク岩が分布、その上位にゲンブ岩が南に傾斜して重なっている（図3）。ゲンブ岩は硬く侵食に強いいため、芝山を形成している。芝山山頂から南に傾くゲンブ岩は、大和川が蛇行を始める付近の地下に延長して続くことと推定され、このゲンブ岩が大和川をせき止め、蛇行を始めた可能性が高い。



図2 芝山中腹 ゲンブ岩のたまねぎ状風化



図3 芝山の地表ガンマ線の測定地点と測定結果

黒色：ゲンブ岩 灰色：信貴山カコウセンリョク岩

5. まとめ

奈良時代、大和川は現在と同じように芝山で大きく蛇行して流れていた。江戸時代まで芝山の南は沼沢地であった。沼沢地西の丘陵は大阪層群が分布することから、大和川がこの丘陵を切って流れたことはない。芝山のゲンブ岩が、大和川の蛇行が始まる付近の地下に存在することが推定され、ゲンブ岩が大和川をせき止めて蛇行させた可能性が高い。

（理科 池田 正）

公開講座の
実施

平成17年度、下記の公開講座を実施いたしました。平成16年度の末から、教頭を中心に各担当者間で、地域の方を対象にした講座を実施できないかと検討していました。年度がかわって概要も決まりました。各市の広報にお願いし、柏原市広報、八尾市広報での案内、柏原市・八尾市の公共機関（図書館、リビエールホール、コミュニティーセンター）で案内パンフレットの設置をお願いし、電話、FAX、

e-mailで申込みの受付をしました。本校ホームページでも募集の案内をしました。広報の各機関への依頼は、教頭と講座担当者が手分けして回りましたが、快く受け入れて頂き、感謝しています。「公立高校もこのような事を実施するようになったのか」とおっしゃられたことが印象に残っています。

1. 公開講座概要

		内 容	担 当	実施日時	締め切り	募集人数	場 所
①	講 演	古代の柏原地域 (河内六大寺、平尾山古墳群を中心として) 90分	吉 岡	8月27日(土) 午前10～12時	7月末	40名	柏原東高校 図書館
		(コンピュータによる古代景観復元の試み) 20分	田 中				
②	実 習	コンピュータグラフィック入門 (操作実習)	田 中	9月3日(土) 午前10～12時	8月末	15名	柏原東高校 LAN教室
		コンピュータグラフィック入門 (自由テーマ)	田 中	8月10日(土) 午前10～12時			
③	講 座	書道入門講座 (筆の持ち方から学習)	角 谷	10/8、10/22、11/5 土、午前10～12時	8月末	10名	柏原東高校 書道教室
④	講 座	書道中級講座 (書道の学習経験者対象)	角 谷	10/8、10/22、11/5 土、午後2～5時			
⑤	講 座	表装講座 (裏打ち、パネル制作)	角 谷	9/17、9/24、10/31 土、午後2～5時			

※書道考査の実施日は若干変更いたしました。

2. 公開講座を実施してみた

①講演は約15名、②実習は8名の申込みと参加、③④⑤の講座は定員に近い申込みと参加がありました。

実施してみたの問題点として、暑い季節での実施（特に①②）であり、本校の地理的な位置も考えて次回は涼しい季節での実施や、比較的年齢の高い方の参加が多かったことを考え、階段を利用しない1階の視聴覚教室や、施設の

問題が解決されれば、学校外の駅に近い施設での実施（出前式の公開講座）が望ましいと思われます。

各講座とも、テーマ的にはかなり専門性が強く、参加された方ははっきりとした目的をお持ちの方がほとんどでした。より多くの方の参加をいただくためには、広いテーマや、色々なテーマの公開講座の検討も考えていかねばと思っています。

(田中 清隆)

PTA活動

柏原東高等学校のPTAは、学校創立時期と同じく昭和52年4月8日の第1回PTA総会にて設立が認められ、今年度で30周年を迎えます。

PTA創立準備委員会の皆様方のご尽力により設立されたPTAは、子どもたちの健全な成長と柏原東高等学校の教育の発展及び会員相互の親睦と文化向上を図る事を目的とし、数多くの取り組みが行われてきました。

私たちは、多くの諸行事を通じて、教職員の皆様方や、地域の方々との交流を図り、子ども達とともに成長し、新たな伝統の一ページを刻むとともに、たくさんの思い出を作る事が出来ました。

防災訓練や講演会では、防災意識の向上を養い、また社会見学会では、有意義な経験と貴重な思い出を作る事が出来ました。

参観の実施や、登下校指導などを通じ、子ども達の学校生活のありのままの姿を理解する事ができ、子ども達と教職員の先生方への相互理解を深めることが出来ました。

また、PTA広報紙「柏東」も設立当初から発刊され、現在で55号となります。

今回の創立30周年を機に、益々発展し行く柏原東高等学校である事を願っております。

平成17年度のPTA活動は次のとおりです。

平成17年

- 5月14日(土) PTA総会
3年：進路説明会 1・2年：学年懇談会
- 6月5日(日) 体育祭
- 6月13日(月) 学級懇談会①
- ↓
- 6月17日(金) 学級懇談会⑤
- 6月18日(土) 第1回実行委員会
- 7月2日(土) 進路見学会
- 7月20日(水) 始業式
PTA新聞「柏東」第54号発行
- 9月5日(月) 登校指導
- 9月17日(土) 第2回実行委員会
学校食堂試食会
- 10月7日(金) 文化祭
- 10月30日(日) 社会見学会
- 11月13日(日) 通学路清掃
- 11月14日(月) 防災訓練・下校指導
- 11月19日(土) 第3回実行委員会
- 11月26日(土) 講演会・学年別懇談会

平成18年

- 1月21日(土) 第4回実行委員会・第1回学級委員会
- 2月24日(金) 卒業式
PTA新聞「柏東」第55号発行
- 4月10日(月) 入学式
- 4月15日(土) 第5回実行委員会



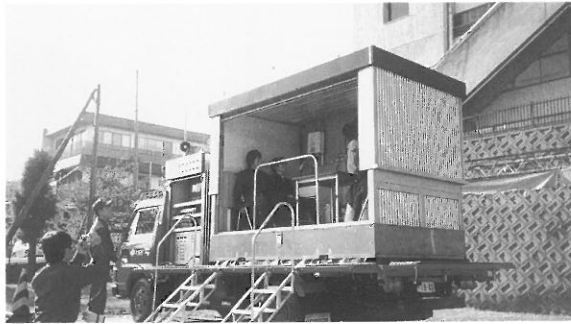
平成17年度PTA役員



平成18年度PTA役員

防災訓練の実施

特筆すべき事として、平成16年度より行われている防災訓練の実施では、テレビ放映でも紹介され、大きな話題となりました。地元地域の皆様方や、教職員の先生方そして子ども達とともに、ボランティア精神や他人への思いやりを養う大きな機会となりました。



救命救急講演会の実施

平成17年度に行われた講演会では、地元消防団の方々を招き、人工呼吸やAEDを使った訓練が行われ、防災意識の向上により一層役立つものとなりました。



社会見学会

●フルーツフラワーパークにて

100万平方メートルもの広大な敷地でワインや神戸牛、ベコニアやコチョウランの美しさを楽しみました。



●南淡路にて

海上45mの高さに設置された橋の遊歩道から、鳴門海峡の絶景のパノラマを満喫しました。



資料

「教育課程」によせて27期生から新教育課程になり、「総合的な学習」の時間、教科「情報」の取り組みなどを含んだ教育課程が編成された。初年度の27期生では紆余曲折もあったが、基礎学力の充実と、従来からのコース制の趣旨を活かしながら、28期生からは下表のような教育課程となった。今後も実態に即した教育課程を検討する必要がある。

28～30期生 教育課程表

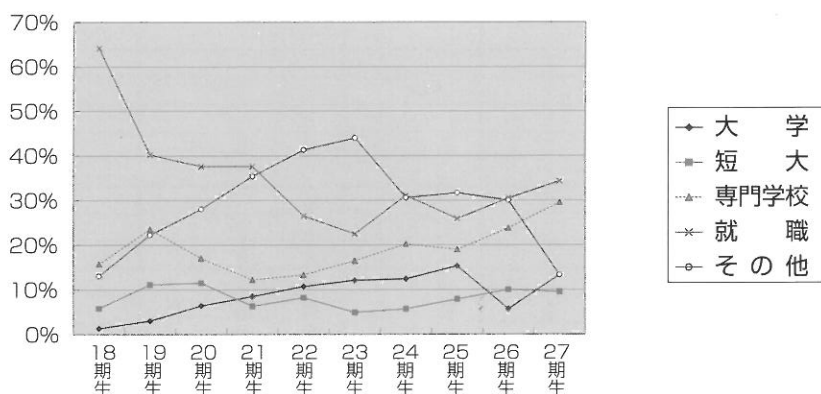
○印は選択必修

教科	科目	1年	2年		2年選択組合せによる類型					3年		3年選択組合せによる類型				
		共通	共通	選択	総合	情報	就職	スポーツ	進学	共通	選択	総合	情報	就職	スポーツ	進学
国語	国語総合	6														
	現代文		3													
	古典講読									2	2	2	2	2	2	2
	(学)現代国語									4						
	(学)基礎古典			2	2	2	2	2	2							
	(学)日本語入門			2	2	2	2	2								
	(学)国語演習			2					2							
	(学)日本語応用									2	2	2	2	2	2	
(学)国語読解									2						2	
地理歴史	世界史B	2	2													
	日本史A								2							
	地理A	2														
	(学)教養地歴			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	
	(学)地球の歩き方									2	2	2	2	2	2	
	(学)アジア研究									2	2	2	2	2	2	
(学)郷土研究									2	2	2	2	2	2		
公民	現代社会									3						
	倫理									2	2	2	2	2	2	
	(学)環境問題研究									2	2	2	2	2	2	
数学	数学Ⅰ	4								2	2	2	2	2	2	
	数学Ⅱ			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2
	数学Ⅲ									2	2	2	2	2	2	2
	数学A		2							2						
	(学)数学演習									2	2	2	2	2	2	
理科	理科総合B	2														
	物理Ⅰ									2	2	2	2	2	2	
	化学Ⅰ		2							2						
	生物Ⅰ		2							2						
	地学Ⅰ									2	2	2	2	2	2	
	(学)総合科学									2	2	2	2	2	2	
保健体育	体育	3	3							2						
	保健	1	1													
	(学)ライフスポーツ			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	
	(学)専攻スポーツ			2				②								
	(学)総合トレーニング									2					②	
芸術	音・美・書Ⅰ	2														
	音・美・書Ⅱ		2													
	音・美・書Ⅲ									2	2	2	2	2	2	
外国語	英語Ⅰ	4														
	英語Ⅱ		3							3						
	リーディング									4						④
	(学)英語基礎演習			2	2	2	2	2								
	(学)国際理解									2	2	2	2	2	2	
(学)英語一般演習									2	2	2	2	2	2		
家庭情報	家庭総合	2	2							2	2	2	2	2	2	
情報	情報A		2													
商業	情報処理			2		②				2		②				
	文書デザイン			2	2	2	2	2		2	2	②	2	2	2	
体育	スポーツⅡ									2					②	
	(学)一般教養			2				②		2				②		
(学)教養	(学)大学教養			1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
教科・科目の計		28	24	4	4	2	2	2	4	20	8	8	4	6	4	8
特別・HR活動		1	1		2	1	1	1	2	1		4	2	3	2	2
総合的な学習の時間		1	1		科	科	科	科	科	1		科	科	科	科	科
総計		30	30~31		目	目	目	目	目	30~31		目	目	目	目	目

進路状況

		大 学	短 大	専門学校	就 職	そ の 他	卒業者数
18期	男	2	2	21	66	11	102
	女	1	11	14	77	18	121
	計	3	13	35	143	29	223
19期	男	5	3	34	47	31	120
	女	2	23	21	47	21	114
	計	7	26	55	94	52	234
20期	男	14	1	26	38	28	107
	女	0	24	11	44	33	111
	計	14	25	37	82	61	218
21期	男	15	1	12	32	24	84
	女	1	11	11	39	43	105
	計	16	12	23	71	67	189
22期	男	19	3	14	20	29	85
	女	2	13	12	32	52	111
	計	21	16	26	52	81	196
23期	男	21	2	16	18	26	83
	女	1	7	14	23	54	99
	計	22	9	30	41	80	182
24期	男	23	3	22	36	20	104
	女	1	8	17	24	39	89
	計	24	11	39	60	59	193
25期	男	26	3	14	30	19	92
	女	3	12	22	19	41	97
	計	29	15	36	49	60	189
26期	男	12	3	24	34	24	97
	女	0	18	26	30	39	113
	計	12	21	50	64	63	210
27期	男	26	6	35	36	6	109
	女	2	14	27	36	22	101
	計	28	20	62	72	28	210

進路決定状況の割合



【進学】

10年前は難関であった4年制大学進学は、少子化等の影響もあり易化傾向にあり、本校でも指定校推薦入試を中心に進学者数を伸ばしている。短期大学は、資格が取得できる学科（幼児教育等）以外は100%合格している。また、専門学校への進学も20~30%と徐々に伸びている。

27期では、進学者の割合が約53%と半数を突破した。今後も、生徒の進学意識を高め、進学希望をかなえるべく、計画的できめ細やかな学習指導を継続していきたい。

【就職】

バブル景気崩壊以来続いた景気低迷のため、10年前には約500社（20年前は約1500社）あった求人は3年前には約170社まで減少した。景気の持ち直しや2007年問題の影響もあり、昨年は約250社の求人があった。就職者の割合は、10年前の約65%から約34%と減少傾向にある。

また、今や社会問題となっているフリーターや進路未定者の割合は、大幅に減少した27期生でも約13%と相変わらず高く、就職指導の重要性と困難さを感じる。

主な大学・短期大学進学先（過去2年）

芦屋大	摂南大	大阪芸大（短期）	大阪健康福祉短大
大阪経済大（2部）	太成大	大阪城南女子短大	四条暁学園短大
大阪経済法科大	帝塚山大	大阪女子短大	千里金蘭短大
大阪芸術大	奈良産業大	大阪府立農業大学校	奈良佐保短大
大阪国際大	阪南大	大阪夕陽丘学園短大	奈良調理短期大学校
大阪商業大	桃山学院大	大谷女子短大	奈良文化女子短大
大阪学院大	彩文大<韓国>	関西女子短大	東大阪短大
相愛大		神戸松蔭短大	プール学院短大
		京都経済短大	

主な就職先（過去2年。学校斡旋による）

医療法人 ラポール会 青山病院	(株)コノミヤ	(株)スペックオペレーション	(有)花屋
アングル・ミュキ(株)柏原工場	(有)小林建築事務所	(株)セノン	パリゼンヌ(株)
(株)井上カーグウド	(株)コムスン	(株)セブン化学	阪南理美容(株)
(有)井村電気商会	栄食品(株)	第一屋製パン(株)	(株)フジキン
岡崎産業(株)	彩華化学工業(株)	ダイハツ工業(株)	富士電線工業(株)
(株)奥田	サニー電化産業(株)	大和板紙(株)	(株)フラワー
(株)オーテック	(株)ザ・ワールドプリンティング	(株)タカゾエ理容室	(株)蓬莱
小川電機(株)	三甲(株)	タケダハム(株)	(株)北陸ヨシナカ
柏原計器工業(株)	三和化工紙(株)	田中紙管(株)	マツサン(株)
カネボウ化粧品販売(株)	(株)シェル石油大阪発売所	田中精機(株)	松本油脂製菓(株)
(株)関西第二電機	資生堂販売(株)近畿圏アパー	(株)中央軒	丸中(株)
(株)如月社	ト営業本部	帝国チャック(株)	(株)万代
北村精工(株)	(株)ジャパン	トモエメディア(株)	医療法人 垣谷会 明治橋病院
共栄精工(株)	昌建工業(株)	鳴門屋製パン(株)	医療法人 山紀会
(株)Greenpath	(株)伸明	(株)ニシムラ	大和鋼材(株)
医療法人 果恵会 恵王病院	周防工業(株)	日本精器(株)	(株)吉則螺子製作所
(株)光洋	(株)スタートーク	ハート封筒(株)	義川製鉄(株)
光洋精工(株) <JTEKT>	(株)ステップ	ハグルマ封筒(株)	(株)ライフコーポレーション

生徒指導部

はじめに

柏原東高校で先人のみなさんのご苦勞により積み上げられた財産・伝統は、生徒指導部で今も生きています。歴代の生徒指導部のみなさん、本当にご苦勞様でした。この10年のまとめとしてはきわめて不十分な内容ですが、現状の柏原東高校の生徒指導部としての総括を記したい。

平成に入ってから長引く不況の中で、社会状況が厳しく、若年層にも大きな影響を与えています。将来への展望が持てない、または持たない生徒の割合が年々増え、入学している。なんとなく「退学」というニートの現象の流れが、本校にも少なからず影響しています。学校斡旋による就職を避けフリーターを希望する、自分で具体的な行動もどうとっていいかわからない、自信もない。現在の行動が将来へとつながらない。中学校までに獲得すべき事柄を獲得できていない。そのため本校では

そのギャップを埋めるべく様々な教育活動がますます必要となっています。「自信回復と信頼関係の確立」は、社会で彼ら自身がその存在意義を発揮し、居場所を獲得して力を発揮していくためにも、本校の重要な教育の方向性である。5学区内でも学力レベルの高い学校でさえ、遅刻が1万数千、欠席や早退をあわせるとさらに増えていくという現状があります。柏原東高校の生徒指導の重要な方針の一つの信頼関係の確立は、生徒を甘やかすことではないと考えています。日々の授業、教科の教育活動、進路、生徒会など各分掌が協力して、学校として彼らをしっかりとつかんでいき、担任が最前線に立ち、学年が彼らを成長させていく。その姿勢はいつも変わらず本校の重要な方針です。生徒指導部はその後方支援ができるようにさらに充実させたい。

*別表

	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
遅刻数	3,448	2,854	2,924	2,713	2,815	2,845	2,142	2,169	2,243	2,362
クラス当	157	135	146	143	148	150	113	114	118	124
欠席数	8,633	7,435	6,855	7,322	6,722	7,282	5,212	5,121	5,549	6,706
クラス当	392	354	342	385	354	383	274	269	292	353
早朝登校	165	94	138	127	145	169	70	62	68	52
処分数	79(53)	54(20)	75(35)	103(68)	121(55)	91(51)	80(34)	50(34)	97(45)	131(62)

* () の数字はその年度の処分数

■欠席・遅刻指導等

遅刻・欠席数を減らすことで、校内秩序を維持していくことは「柏原東の教育」の重要なポイントであり、それを維持する体制は財産でもある。学区内でも教育困難が集中する生徒を受け入れざるを得ない現状のなかで、現在も朝の立ち番、遅刻の追い上げ指導を継続している。別表のとおりこの10年間、年間遅刻数が3000を上回ったのは10年前(1996年度)、この9年間は2000台を維持しており、5学区のなかでも特筆されるべき状況をつくり、

落ち着いた柏原東高校の教育状況の下支えになっている。1993年から続いてきた「自信回復と信頼関係の確立」は、決して生徒を甘やかすことなく丁寧に指導してきた成果として今日も継承されている。ただ今年も含めて、この4年間その数字が徐々に後退しつつあることも見ておかなければならない。この10年間の教職員の遅刻・欠席防止の粘り強い取り組みは、今後も柏原東高校の財産として継承していただきたい。

■処分者等

処分者総数は2005年度、5年ぶりに100人の大台を大きく超えている（62件131名）。この増加傾向は十分注意しなければならない。また二人乗り、車（タクシー）登校、単車通学とバスの不正乗車に象徴される登下校時の「手抜きと安易さ」、柏原東高校は坂の上の学校であることをもう一度噛みしめて指導していかなければならない。また相変わらず喫煙（行為・所持・同席）は減る傾向を見せていない。登下校時の生徒のマナー違反に対する地域、店舗からの苦情には心が痛む。

■男女制服改訂

男子は19期生、女子は14期生の時点でそれぞれ制服の全面改訂していますが、創立30周年を機に、新しい柏原東のスタートをイメージするに相応しい制服に全面改訂を予定しています。2007年度から学区改編もあり、柏原東高校の制服のイメージアップにより、新入生に訴える力になることを期待しています。現在、男女新しい制服をプロジェクトチームが、価格面でも保護差負担の軽減をめざし、最新の生地素材の改善を取り入れた制服になるように検討作業にはいっています。遅くとも11月11日の記念行事までには制服披露を行う予定です。

■今後に向けて

今後も新入生のなかには、既に小中学時代に、指導拒否・授業妨害を経験しており、それを当たり前と思う生徒が混じる。例年新入生は入学後も中学時代とほぼ同様に行動する。近年の新入生の指導無視・授業妨害などは特殊な事情とは考えがたい。今後発生するかもしれない問題事象に対して、17期生以来掲げてきた「自信回復と信頼関係の確立」を重視しつつ、教員がほとんど入れ替わる中での「柏原東の教育の財産と伝統」を守っていく必要があり、教師側の心構え・指導体制・連携の大切さをこれからも堅持し続けたい。

しかし、一方で、体育祭・文化祭・学年行事・部活動の取り組みにも素直に反応してくれる少なくない生徒達もいる。中学校までには経験したことのない充実感を収めて、本校を巣立っていることも忘れてはならない。柏原東高校の粘り強い、丁寧な教育が、学校の秩序と安全を保ち、健全な学習環境の維持を実現していること。柏原東高校に来て、はじめて学ぶ喜びと意欲を持つようになった生徒達の存在。この10年が、生徒、保護者、中学校、地域からの信頼を徐々に獲得していることも忘れてはならない。

保健部

○ 保健室も30周年

この30年間たくさんの生徒が訪れ、巣立っていきました。足繁く通っていた人も、全く入ったことのない人もおられるでしょう。最近の保健室は少しずつ落ち着いてきたように思われます。1・2年生のころには頻繁に顔を見せていた人も3年生になり、進路を見据えるようになると、しだいに大人びた表情になって立派に卒業していきます。子どもから大人への最後の成長を遂げていく姿を見せてもらい、嬉しく頼もしく思っています。現在在校の650名のみなさんも時には生活でたくさんのストレスでしんどくなることもあるでしょう。それでも立派に卒業されることを期待しています。

○ 保健部の活動 ☆行事を中心に☆

保健部は、生徒保健委員会と一緒にさまざまな取り組みを行っています。健康診断・性教育講演会・文化祭での研究発表・通学路清掃・防災訓練などです。保健委員だけでなく生徒全員の活躍を紹介します。

● 文化祭研究発表

保健委員会で心と体の健康に関係のあるテーマを決め、全校生徒にアンケートを取ります。その結果を図表にまとめ、結果からわかったことを模造紙15枚程度にまとめ発表しています。

平成13年度は「生活実態・意識調査について」

平成14年度は「たばこについて」

平成15年度は「セクシャリティについて」

平成16年度は「ストレスといじめについて」

平成17年度は「携帯電話について」

など、身近な話題を選んでいきます。

昨年の携帯電話についての研究では身近で興味のある話題とあって、保健委員の生徒はとても熱心に、とてもいい取り組みました。文章を考えるのが得意な人、グラフをていねいに書いてくれる人、文字を上手に書いてくれる人。ひとりひとりが得意なことを生かして毎年力作が出来上がっています。

文化祭当日には、血圧と体脂肪を計測する健康相談コーナーも開きました。生徒からも保護者の方からも人気があり、大盛況でした。



● 防災訓練

防災訓練は年2回行っています。一昨年・昨年は地域の消防団にご協力いただき、起震車・放水車・水消火器などの体験をしました。また青山台の方と一緒にバケツリレーや、毛布で作る担架を体験しました。これらの体験によって地震や火事など大災害の恐ろしさを実感でき、またその場合にはご近所の方と協力し合うことの大切さを学べたのではないのでしょうか。いつか起こるかもしれない大災害に備えることのきっかけになればいいと思います。



● 性教育講演会

1・2年生は6月に、3年生は11月に学校外の講師の先生に来ていただき、「性」について講演会を開いています。巷にあふれる誤った性情報の中に生きている皆さんが、正しい知識を持ち、間違った選択をしないように、一時の感情に流されて後から後悔するような行動を取らないようにと願い、行っています。

● 通学路清掃

J R 高井田駅から学校に至る通学路を清掃しています。一度は参加したことがありますね。

担任の先生・学年の先生と一緒に大きいゴミ袋がいっぱいになるほどごみを集めて学校まで持って帰ります。みんな一生懸命にたくさんのゴミを集め、通学路をきれいにしています。



○ 未来に向けて

30年。とても長い年月に聞こえるでしょうか。過ぎてみると短かったと感じるのでしょうか。30年の間に保健部としてもたくさんの出来事がありました。一人一人の生徒が学校にいた時間は3年間ですが、その一日一日がつみかさなって30周年を迎えることができました。保健室でも肝を冷やした事故が起きた事もありました。人間関係につまずいて涙を流した人もいました。

性教育講演会の感想文にこのように書いてくれた人がいました。

「私たちは30兆分の1の確立で生まれてきた。

だから、命って大切なんだ。」

1つの精子と1つの卵子が出会う確立は30兆分の1と言われています。講演会で聞きました。30兆分の1という気の遠くなるような確立で生まれてきた命。この貴重な宝物を、自分の分も、他人の分も大切にできる大人になって欲しい。命を大切に生きるために、将来に向かって健康に生きていく力を身につけて欲しい。そういう思いで保健部は活動しています。自分の状態を知り、自分で解決できるように知識も高めて欲しいと思っています。

高度情報化社会で「何が本当なのか」を見定めるのも難しい時代です。柏原東高校を巣立った皆さんが社会で人々と協力し支えあって活躍されることを願っています。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

名誉委員長	校 長	二敷 寛治
実行委員長	前PTA会長	山田 光男
副委員長	同窓会会長	福山 円香
	柏東河嵐会会長	藤井 宏昭
	PTA会長	至田 正義
委 員	同窓会副会長	浦田 愛弓
	同窓会副会長	森 はるか
	前柏東河嵐会会長	楠本 元信
	前PTA副会長	増谷佐江子
	元PTA副会長	北本 久子
	前PTA書記	藪田 彰子
	前PTA会計	松原 益男
	前PTA会計監査	西川 琢也
	PTA副会長	藤本 享子
書 記	PTA会計監査	至田 悦代
	教 頭	大西 広司
	教 諭	吉村 信義
会 計	前PTA会計	濱名 栄子
	事 務 長	嶋田 博司
会計監査	前PTA副会長	高田 浩二
	PTA副会長	高木 隆子

校内委員会 (事務局)	教 頭	大西 広司
	事務長	嶋田 博司
	委 員	田中 清隆
	委 員	吉村 信義
	委 員	富澤 妙子
	委 員	徳永 克也
	委 員	平井 俊男
	委 員	富山 治正
	委 員	角谷 修治

柏原東高校が創立されて30周年を迎えました。その記念事業の一環として記念誌を発行することとなりました。

この記念誌では21期生から30期生までの歩みを辿りつつ、現在の柏原東高校の活動に重点を置き、柏原東高校の良さをアピールするものを目指しました。編集の過程で、PTAをはじめ各分野の皆様のご苦勞やご尽力に改めて触れることができました。また、本校周辺の歴史・文化・自然についての研究成果もお寄せいただき、学ぶにふさわしい環境であると実感いたしました。

お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、貴重な資料や写真の提供をいただいた皆様に心からお礼申し上げます。

編集委員一同

編集委員会

増谷佐江子（PTA）・田中清隆・平井俊男・富澤妙子

大阪府立柏原東高等学校 創立30周年記念誌

発行日 平成18年11月11日

発行 大阪府立柏原東高等学校
創立30周年記念事業実行委員会
〒582-0015
大阪府柏原市高井田1015
TEL 072-976-0501
FAX 072-977-4807

編集協力 創立30周年記念誌編集委員会

表紙題字 角谷 修治（本校書道科教諭）

制作 出版樹々 記念誌制作室

〒569-0844

大阪府高槻市柱本3丁目12番3号

TEL 072-677-5171

FAX 072-677-5793

印刷 株式会社 日東印刷